

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

# 東京都感染症週報

2008年第44週  
(10月27日～11月2日)

\* 2008年11月5日現在の情報により作成しています。  
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。  
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>

平成20(2008)年11月6日発行

編集・発行

東京都医師会感染症予防検討委員会  
東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話：03-3363-3213(直通)  
FAX：03-5332-7365  
e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

## 全数把握対象疾患 報告数 2008年44週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				年累計	全国(診断週)	
		41週	42週	43週	44週		44週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							1
	結核	73	39	82	60	3624	298	22745
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *							
	鳥インフルエンザ (H5N1) **							
三類	コレラ	1				6		45
	細菌性赤痢	2	1	1	1	56	5	269
	腸管出血性大腸菌感染症	7	35	9	5	376	62	3950
	腸チフス	1	1		1	12		49
	パラチフス					5		24
四類	E型肝炎			1		7		38
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎					26	1	153
	エキノコックス症							14
	黄熱							
	オウム病							7
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱					1		3
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							2
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	つつが虫病					5	17	158
	デング熱				2	27	2	90
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ (H5N1を除く)							
	ニバウイルス感染症							
	日本紅斑熱						11	101
	日本脳炎							3
	発しんチフス							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							4
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	ボツリヌス症							2
	マラリア	1	1			21	2	48
野兔病							4	
ライム病							4	
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽								
レジオネラ症	2	1	2		68	10	752	
レプトスピラ症					3		32	
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		41週	42週	43週	44週	年累計	44週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	3	1	7	3	163	11	705
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)				2	27		200
	急性脳炎 ***			1		9		156
	クリプトスポリジウム症	1				4		8
	クロイツフェルト・ヤコブ病					12	1	130
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					19		99
	後天性免疫不全症候群	4	10	16	16	461	21	1294
	ジアルジア症					19		67
	髄膜炎菌性髄膜炎					2		10
	先天性風しん症候群							1
	梅毒	2	5	3	3	166	7	683
	破傷風					5		105
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症				2	12	2	74
	風しん		1	1		41	2	283
	麻しん	1		4	2	1160	12	10887
2008/11/5集計								

\* 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

\*\* 2008年5月12日から指定された。

\*\*\* ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

### (全数把握対象疾患のコメント)

#### 〈二類感染症〉

**結核 60件** 肺結核33件、その他27件で、推定感染地は国内55件、中国1件、フィリピン1件、ミャンマー1件、不明2件。年齢は5歳未満3件、10歳代3件、20歳代5件、30歳代3件、40歳代5件、50歳代9件、60歳代10件、70歳代14件、80歳代8件であった。

#### 〈三類感染症〉

**細菌性赤痢 1件** ソンネで、推定感染地はエジプト、推定感染経路は飲食物による経口感染であった。  
**腸管出血性大腸菌感染症 5件** 有症状者3件、無症状病原体保有者2件で、血清型・毒素型はO157(VT2) 3件、O157(VT1VT2) 2件であった。年齢は10歳未満2件(うち5歳未満1件)、10歳代1件、40歳代2件であった。

**腸チフス 1件** 推定感染地はインド、推定感染経路は飲食物による経口感染であった。

#### 〈四類感染症〉

**デング熱 2件** 血清型は2型と4型、推定感染地はインドネシア1件、シンガポール1件であった。

#### 〈五類感染症〉

**アメーバ赤痢 3件** 腸管アメーバ症2件、腸管及び腸管外アメーバ症1件で、推定感染地は国内1件、韓国1件、国内/中国1件、推定感染経路は性的接触2件(異性間1件、性別不明1件)、飲食物による経口感染1件であった。

**ウイルス性肝炎 2件** B型1件、C型1件で、推定感染地はともに国内、推定感染経路はともに同性間性的接触であった。

**後天性免疫不全症候群 16件** 無症候キャリア9件、AIDS 1件、その他6件で、推定感染地は国内15件、不明1件、推定感染経路は性的接触15件(同性間10件、異性間3件、両性間2件)、不明1件であった。

**梅毒 3件** 早期顕症梅毒Ⅰ期1件、早期顕症梅毒Ⅱ期2件で、推定感染地はすべて国内、推定感染経路はすべて性的接触(同性間2件、異性間1件)であった。

**バンコマイシン耐性腸球菌感染症 2件** 1件は整形外科的処置との関連、1件は免疫不全による内因性感染が考えられている。耐性遺伝子はともに不明。

**麻しん 2件** 麻しん(臨床診断例)1件、修飾麻しん(検査診断例)1件で、年齢は10歳代1件、80歳代1件であった。麻しん含有ワクチン接種歴は1回1件、不明1件であった。

## 定点把握対象疾患 報告数 2008年44週

定点種別	対象疾患	2008年					報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		41週	42週	43週	44週 (定点当たり)			
小児科	RSウイルス感染症	88	96	113	156	1.10	142	150
	咽頭結膜熱	24	18	28	27	0.19		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	208	155	232	234	1.65		
	感染性胃腸炎	528	515	605	675	4.75		
	水痘	74	88	84	111	0.78		
	手足口病	178	141	166	129	0.91		
	伝染性紅斑	10	6	27	26	0.18		
	突発性発しん	100	96	111	102	0.72		
	百日咳	1	3	6	4	0.03		
	ヘルパンギーナ	37	29	27	14	0.10		
	流行性耳下腺炎	78	104	84	70	0.49		
	不明発しん症 (注1)	14	11	19	28	0.20		
	MCLS(川崎病) (注1)	4	0	1	0	0.00		
インフルエンザ	インフルエンザ (注2)	19	14	9	11	0.04	278	290
眼科	急性出血性結膜炎	1	0	0	1	0.03	37	39
	流行性角結膜炎	18	8	20	12	0.32		
基幹	細菌性髄膜炎 (注3)	1	0	0	1	0.04	23	24
	無菌性髄膜炎	0	0	1	0	0.00		
	マイコプラズマ肺炎	2	6	13	8	0.35		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	2	3	2	0.09		
2008/11/5集計								

(注1) 不明発しん症、MCLS(川崎病) は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

# 風しん、麻疹、成人麻疹は2008年第1週より全数把握対象疾患に変更。

### (定点把握対象疾患のコメント)

- ・RSウイルス感染症の定点当たり報告数は増加し、1.10人/定点となった。2003年第47週の集計開始以降、最も多かった2006年第52週(1.11人/定点)と同レベルであり、特に注意が必要である。
- ・手足口病の定点当たり報告数は微減したが、依然、過去の同時期より高いレベルで推移しており、引き続き注意が必要と思われる。
- ・不明発しん症の定点当たり報告数は増加した。今後の推移に注意が必要である。
- ・クラミジア肺炎の定点当たり報告数は減少したが、依然高いレベルにあり、注意が必要である。

### (定点医療機関からのコメント)

今週はありません。

## 定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2008年44週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～5か月	10			9	1			3		
～11か月	33	2	2	58	5	5		38		1
1歳	67	4	7	119	17	35	1	49		4
2歳	24	5	8	69	17	11	2	10		1
3歳	6	4	21	45	17	29	4	1		3
4歳	12	5	31	60	23	19	1		1	2
5歳	1	3	26	43	8	13	3	1		
6歳	2	2	41	50	7	3	5			1
7歳	1	1	24	29	1	4	1			1
8歳			21	23	2	1	2			
9歳			12	28	2	1	1			1
10～14歳			24	45	2	4	5			
15～19歳			3	6	2	1				
20～29歳		1	14	91	7	3	1		3	
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	156	27	234	675	111	129	26	102	4	14
先週比	43	-1	2	70	27	-37	-1	-9	-2	-13

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	不明発しん症	MCLS(川崎病)	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～5か月		1				
～11か月		6				
1歳		3		1		
2歳	8	5				1
3歳	13	3				1
4歳	14	2		1		
5歳	9			1		
6歳	9	1				
7歳	4	2				
8歳	7	2				
9歳	2	1				
10～14歳	3	2				1
15～19歳				2		
20～29歳	1			4		2
30～39歳						3
40～49歳						1
50～59歳				1		1
60～69歳					1	2
70～79歳				1		
80歳以上						
合計	70	28		11	1	12
先週比	-14	9	-1	2	1	-8

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

### 全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数

【年齢階級別】 2008年44週

	風しん	麻しん
0歳		
1歳		
2歳		
3歳		
4歳		
5歳		
6歳		
7歳		
8歳		
9歳		
10～14歳		
15～19歳		1
20～29歳		
30～39歳		
40～49歳		
50～59歳		
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		1
合計		2

## 定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2008年44週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田	3			2	1					
中央区			4	9						1
みなと	12	1	15	38		1		2		
新宿区	9		3	14	4	1		3		
文京	1	1	2	6		2		1		
台東	6	4	1	21		2	1	3		
墨田区	1		3	9	3			1		
江東区	9	2	7	51		8	1	3		
品川区	3		3	37	2	8		4		1
目黒区	1			14			1	2		
大田区	11	2	15	48	1	10	9	6	3	1
世田谷	18		9	16	4	7		2		1
渋谷区	1		1	19	7			2		
中野区			4	50	1	1	1			
杉並			10	13	20	1		6		
池袋			1	5	1	3				
北区			4	22	1	3	2	6		
荒川区	7	1	7	7	2	5		4		1
板橋区			2	9	1	4		1		
練馬区	2	1	3	16	3		1	4		6
足立			2	21	9	6	3	7		
葛飾区			2	3	4	8		3		
江戸川	5	5	44	4	5	9	1	6		
八王子市	2	7	19	40	7	5	2	7	1	
西多摩	3		1	45	4			2		
南多摩	10	1	6	17	4	5		2		1
町田		1	37	68	12	16	3	9		
多摩立川		1	5	15	2	1		1		1
多摩府中	8		15	22	6	10	1	6		
多摩小平	44		9	34	4	13		7		1
島しょ					3			2		
東京都合計	156	27	234	675	111	129	26	102	4	14

全数把握対象疾患  
(風しん、麻しん)報告数

【保健所別】 2008年44週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田		1				
中央区	2					
みなと						
新宿区	2					
文京						1
台東	1	2				
墨田区	1	1		1		
江東区	4					1
品川区	1	4				
目黒区						
大田区	2	1			1	
世田谷	4	1				
渋谷区	5					
中野区	7	1				1
杉並	3					
池袋						
北区	4					
荒川区	2	7				1
板橋区						
練馬区	2	1				1
足立	4			1		2
葛飾区	5					
江戸川	4			2		
八王子市	9	6				4
西多摩	1					
南多摩	2					
町田	3	1		6		
多摩立川	1					1
多摩府中		2		1		
多摩小平	1					
島しょ						

東京都合計	70	28	-	11	1	12
-------	----	----	---	----	---	----

	風しん	麻しん
千代田		
中央区		
みなと		
新宿区		
文京		
台東		
墨田区		
江東区		
品川区		
目黒区		1
大田区		
世田谷		
渋谷区		
中野区		
杉並		
池袋		
北区		
荒川区		
板橋区		
練馬区		
足立		
葛飾区		
江戸川		
八王子市		
西多摩		
南多摩		
町田		
多摩立川		1
多摩府中		
多摩小平		
島しょ		

東京都合計		2
-------	--	---

## 定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2008年44週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田	1.00			0.67	0.33					
中央区			1.33	3.00						0.33
みなと	2.00	0.17	2.50	6.33		0.17		0.33		
新宿区	1.50		0.50	2.33	0.67	0.17		0.50		
文京	0.33	0.33	0.67	2.00		0.67		0.33		
台東	2.00	1.33	0.33	7.00		0.67	0.33	1.00		
墨田区	0.33		1.00	3.00	1.00			0.33		
江東区	2.25	0.50	1.75	12.75		2.00	0.25	0.75		
品川区	0.50		0.50	6.17	0.33	1.33		0.67		0.17
目黒区	0.33			4.67			0.33	0.67		
大田区	1.22	0.22	1.67	5.33	0.11	1.11	1.00	0.67	0.33	0.11
世田谷	2.25		1.13	2.00	0.50	0.88		0.25		0.13
渋谷区	0.25		0.25	4.75	1.75			0.50		
中野区			0.67	8.33	0.17	0.17	0.17			
杉並			1.67	2.17	3.33	0.17		1.00		
池袋			0.50	2.50	0.50	1.50				
北区			1.00	5.50	0.25	0.75	0.50	1.50		
荒川区	3.50	0.50	3.50	3.50	1.00	2.50		2.00		0.50
板橋区			0.50	2.25	0.25	1.00		0.25		
練馬区	0.40	0.20	0.60	3.20	0.60		0.20	0.80		1.20
足立			0.40	4.20	1.80	1.20	0.60	1.40		
葛飾区			0.50	0.75	1.00	2.00		0.75		
江戸川	1.25	1.25	11.00	1.00	1.25	2.25	0.25	1.50		
八王子市	0.50	1.75	4.75	10.00	1.75	1.25	0.50	1.75	0.25	
西多摩										
南多摩	2.50	0.25	1.50	4.25	1.00	1.25		0.50		0.25
町田		0.25	9.25	17.00	3.00	4.00	0.75	2.25		
多摩立川		0.17	0.83	2.50	0.33	0.17		0.17		0.17
多摩府中	0.89		1.67	2.44	0.67	1.11	0.11	0.67		
多摩小平	7.33		1.50	5.67	0.67	2.17		1.17		0.17
島しょ					3.00			2.00		

東京都	1.10	0.19	1.65	4.75	0.78	0.91	0.18	0.72	0.03	0.10
-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

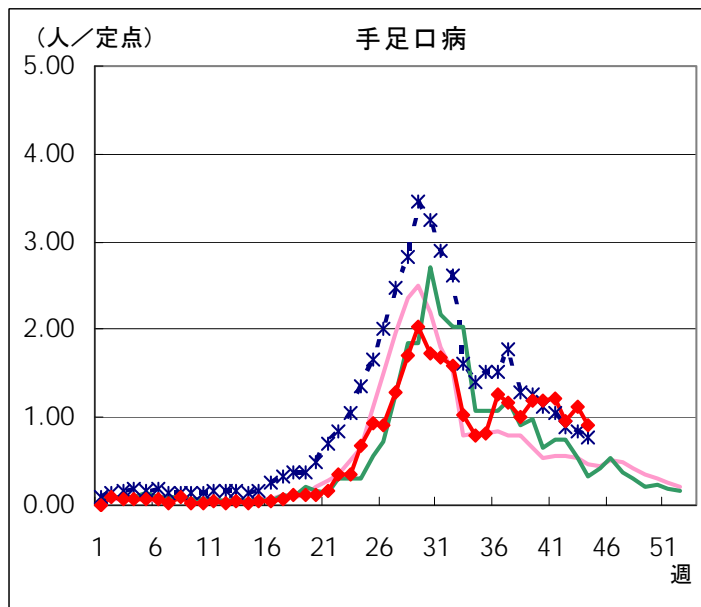
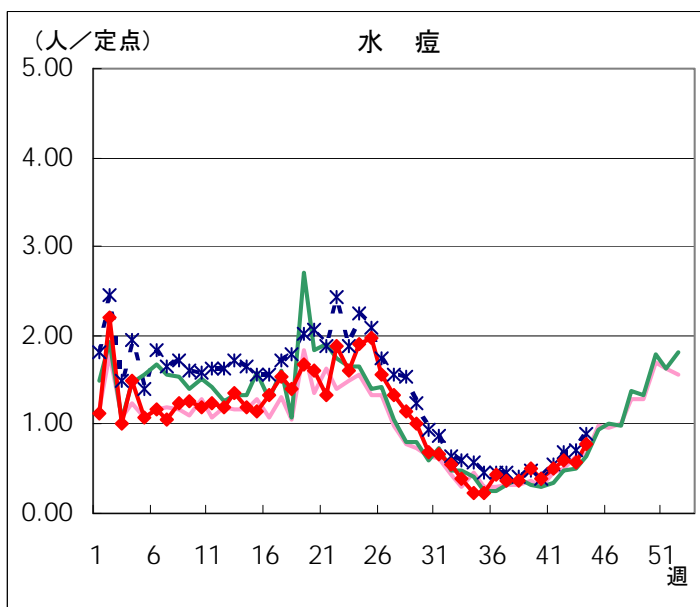
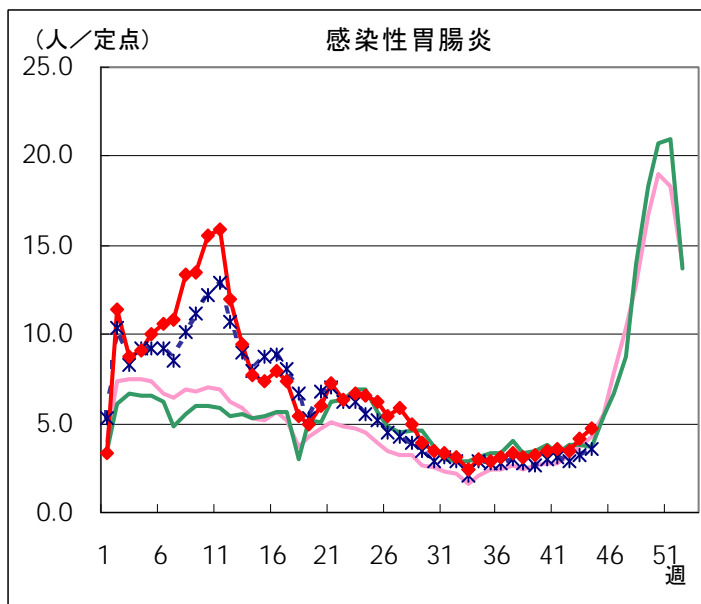
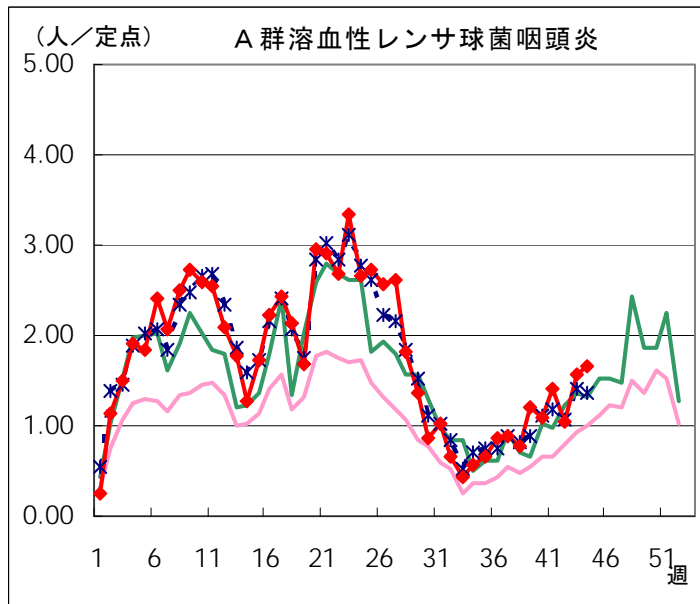
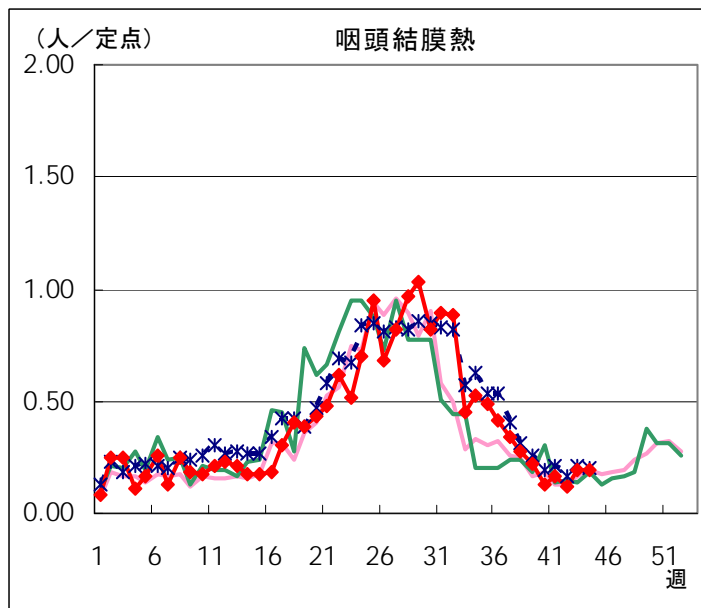
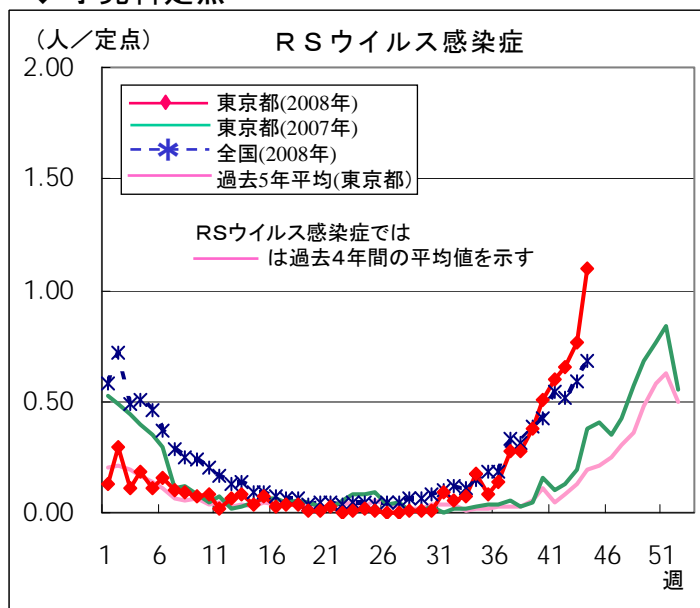


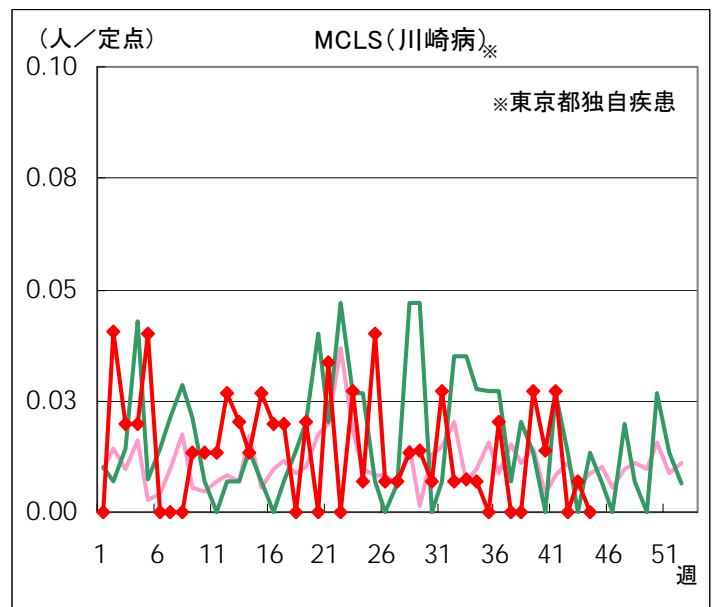
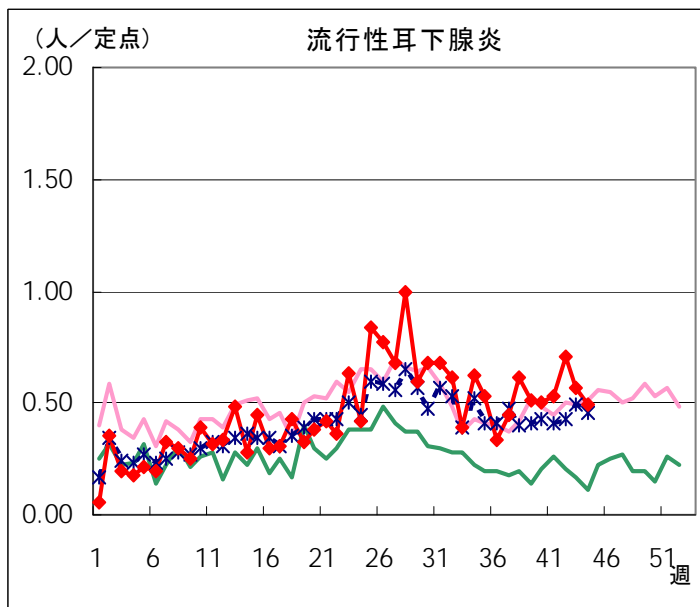
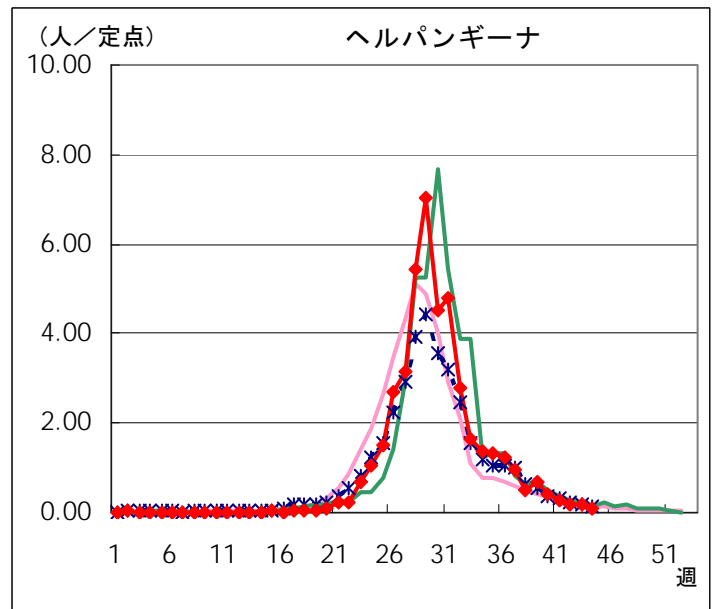
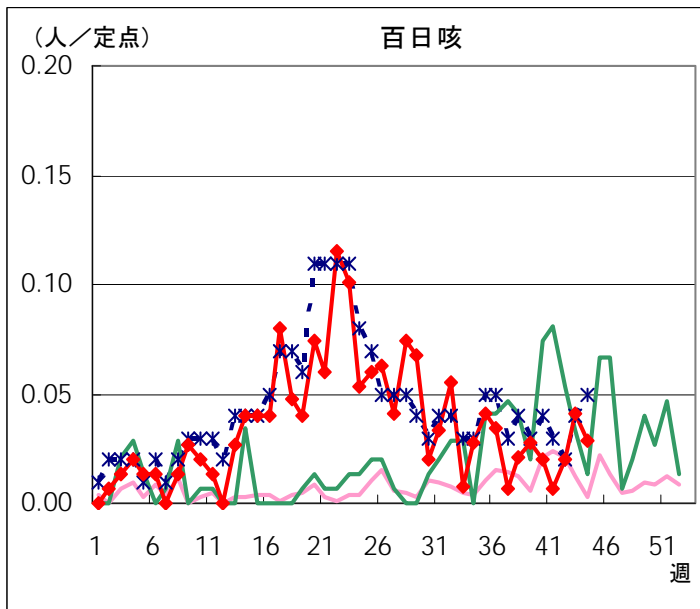
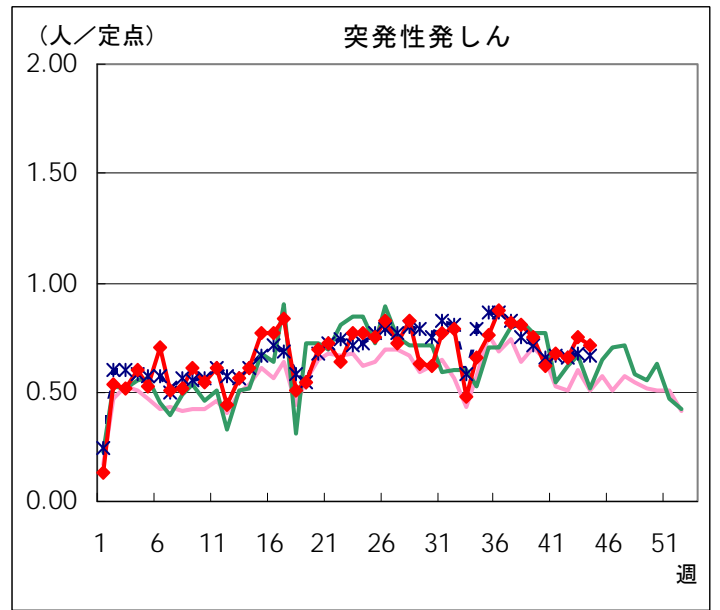
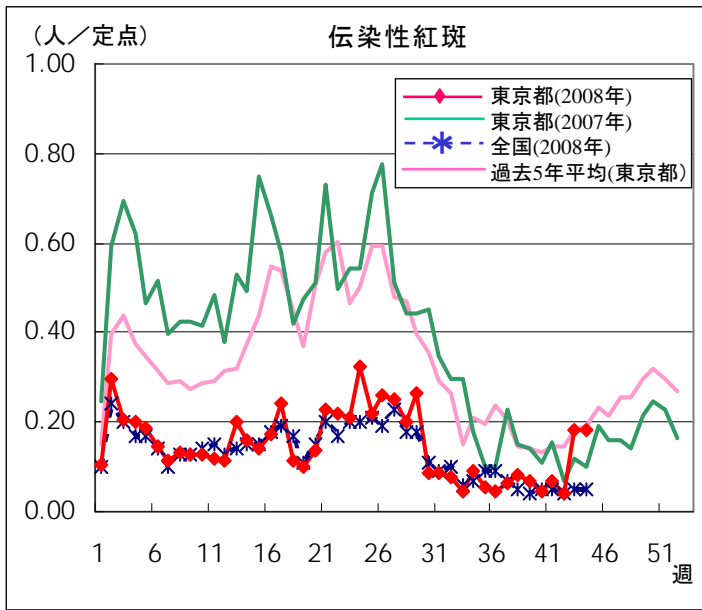
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田		0.33				
中央区	0.67					
みなと						
新宿区	0.33					
文京						1.00
台東	0.33	0.67				
墨田区	0.33	0.33		0.17		
江東区	1.00					1.00
品川区	0.17	0.67				
目黒区						
大田区	0.22	0.11			0.50	
世田谷	0.50	0.13				
渋谷区	1.25					
中野区	1.17	0.17				1.00
杉並	0.50					
池袋						
北区	1.00					
荒川区	1.00	3.50				1.00
板橋区						
練馬区	0.40	0.20				0.50
足立	0.80			0.08		1.00
葛飾区	1.25					
江戸川	1.00			0.18		
八王子市	2.25	1.50				2.00
西多摩						
南多摩	0.50					
町田	0.75	0.25		0.67		
多摩立川	0.17					0.50
多摩府中		0.22		0.05		
多摩小平	0.17					
島しょ						

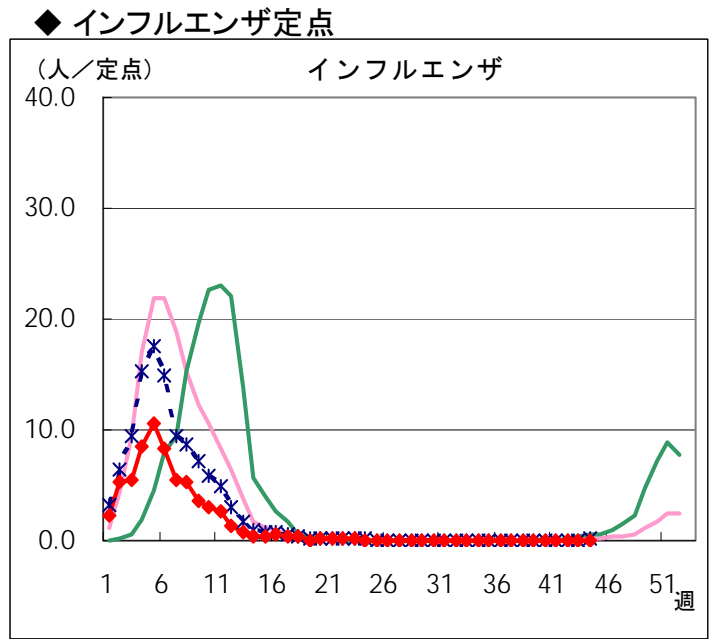
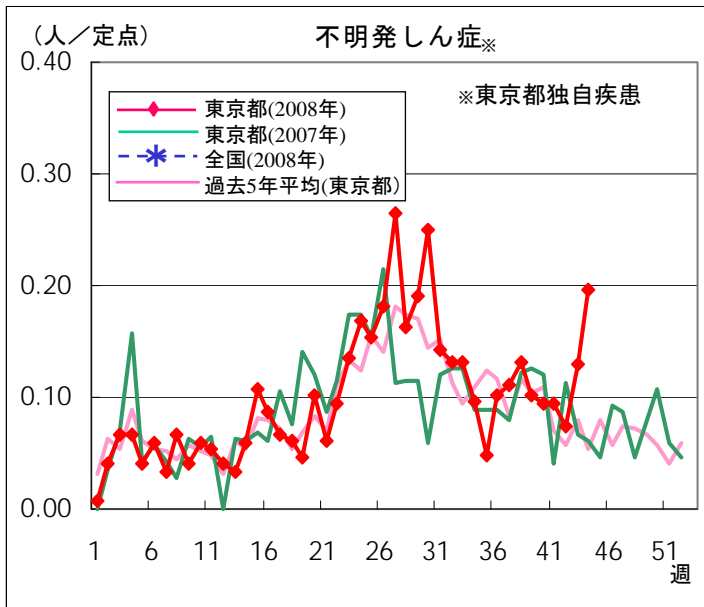
東京都	0.49	0.20	-	0.04	0.03	0.32
-----	------	------	---	------	------	------

# 定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2008年44週現在

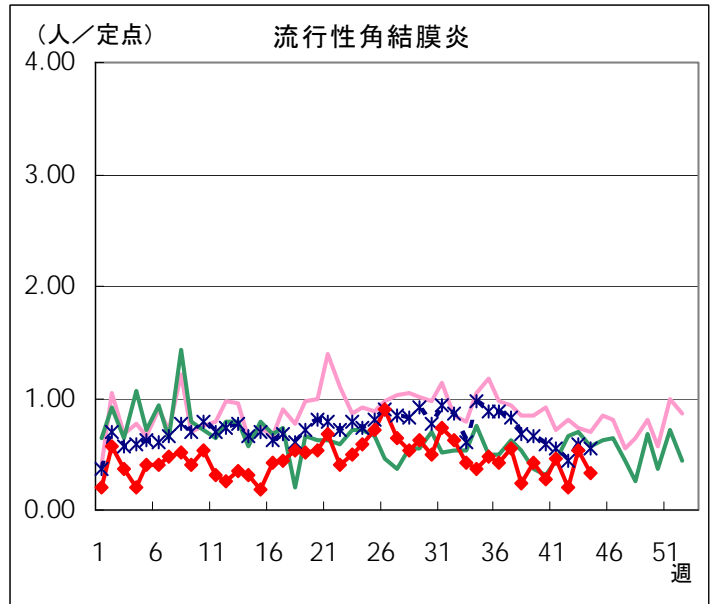
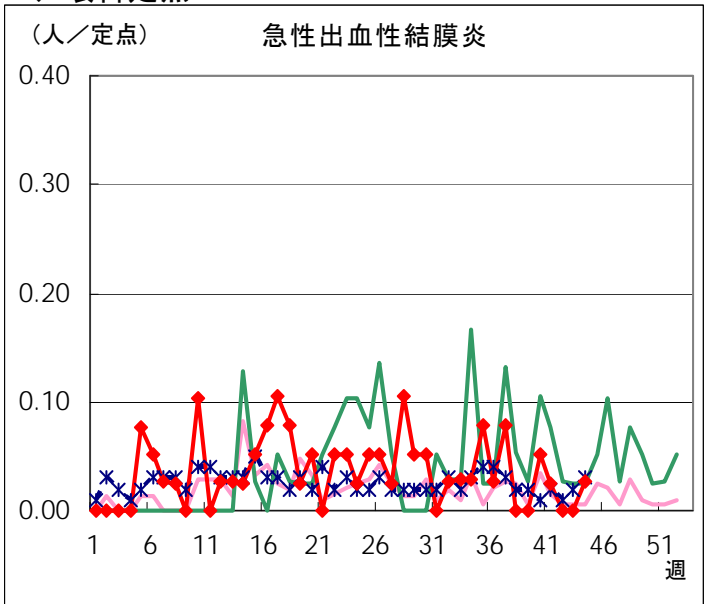
## ◆ 小児科定点



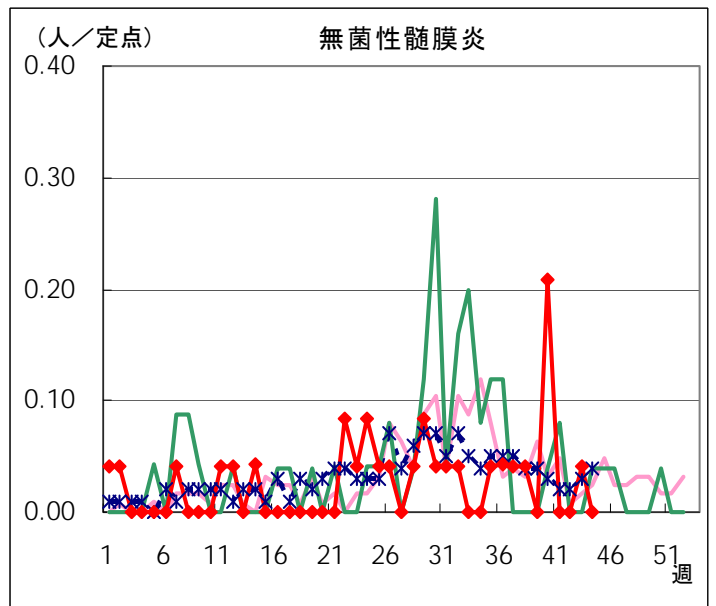
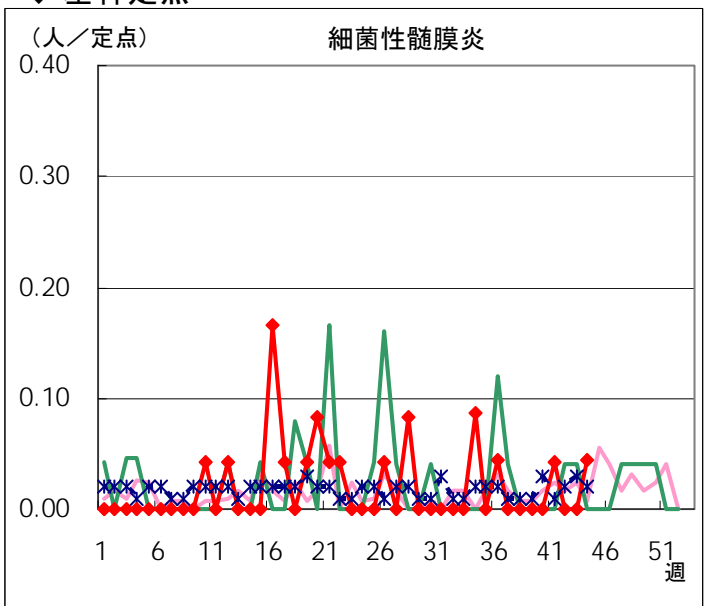


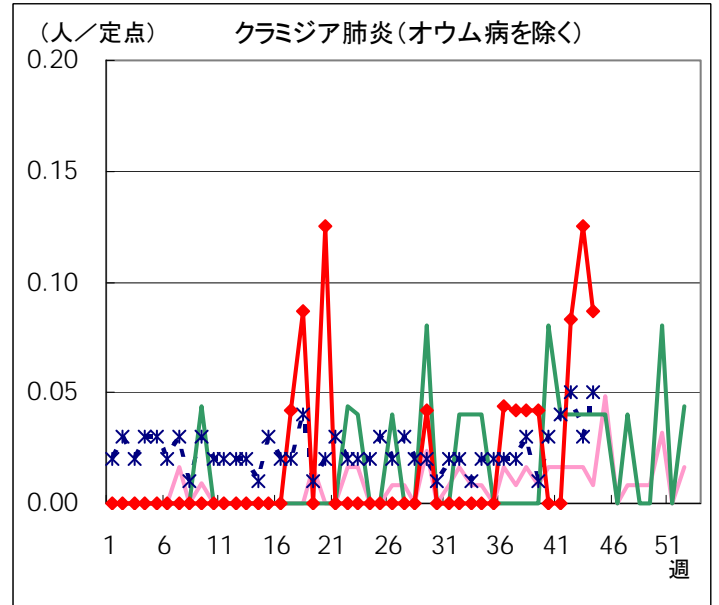
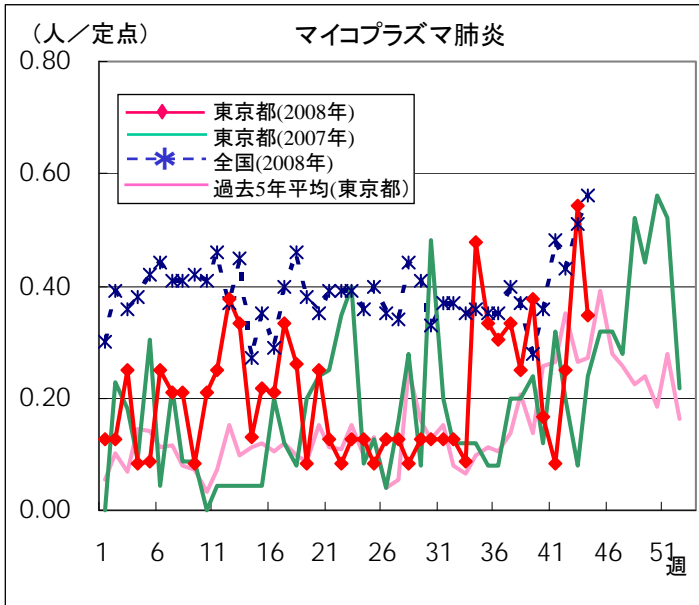


◆ 眼科定点

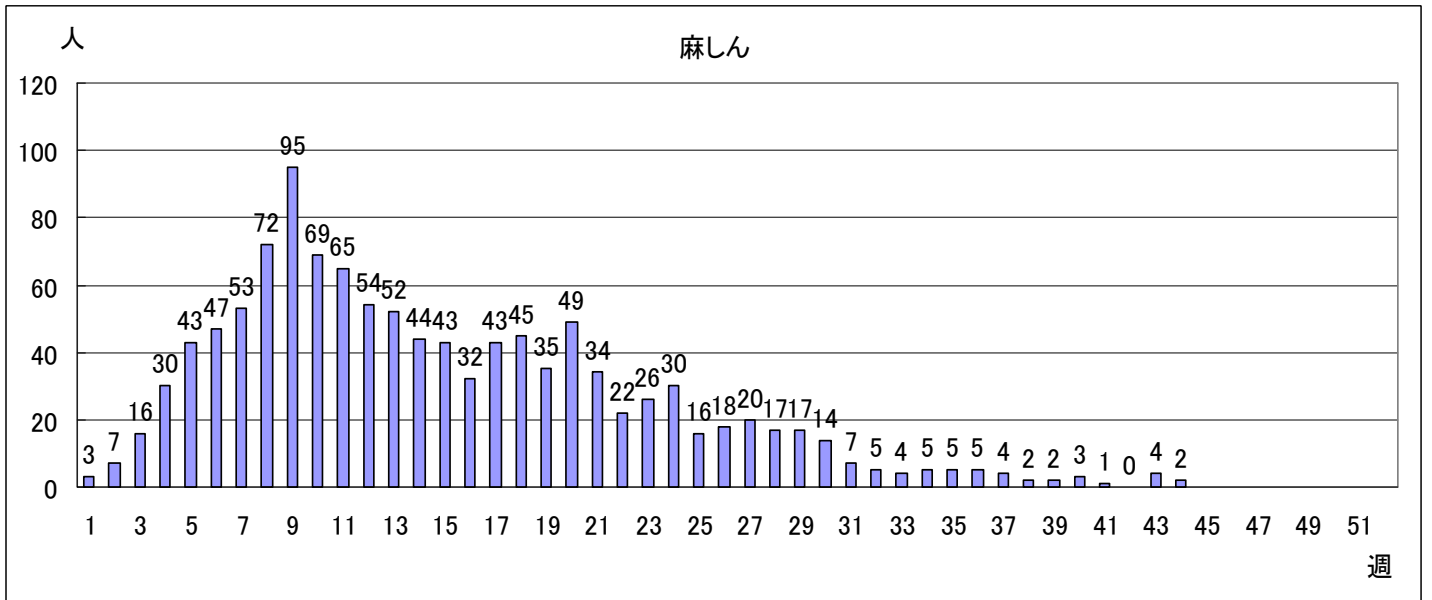


◆ 基幹定点





**全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2008年44週現在**



## 病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

\*原則として検体採取日の順に掲載しています。

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
10/10	感染性胃腸炎	6	糞便	ノロウイルスG II	遺伝子
10/15	髄膜炎	34	髄液	エンテロウイルス	
10/16			咽頭拭い液		
10/15	流行性耳下腺炎	6	咽頭拭い液	アデノウイルス EBウイルス	
10/15	手足口病	2	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
10/15	髄膜炎	41	髄液	エンテロウイルス	
10/16			糞便		
			咽頭拭い液		
10/16	髄膜炎	7	髄液	エンテロウイルス	
10/16	発熱	1M	髄液	エンテロウイルス	
10/17	突発性発しん	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	
10/17	熱性けいれん、咽頭炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス エンテロウイルス ヒトヘルペスウイルス6型	
10/17	肝機能障害	2M	咽頭拭い液	サイトメガロウイルス	
10/17	急性胃腸炎	7M	直腸拭い液	エンテロウイルス ノロウイルス	
10/17	急性気管支炎	2	記載無し	エンテロウイルス RSウイルス	
10/17	血球貪食症候群	12	咽頭拭い液	EBウイルス	
10/18	けいれん重積、発熱	8M	髄液	ヒトヘルペスウイルス6型	
10/18	肺炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス RSウイルス	
10/18	上気道炎	1	咽頭拭い液	RSウイルス	
10/20	流行性耳下腺炎	4	咽頭拭い液	アデノウイルス ムンプスウイルス EBウイルス	
10/20	突発性発しん	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
10/20	突発性発しん	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	遺伝子
10/20	手足口病	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス サイトメガロウイルス	
10/20	熱性けいれん	10M	髄液	ライノウイルス	
10/20	急性副鼻腔炎	2	咽頭拭い液	エンテロウイルス サイトメガロウイルス	
10/20	気管支炎	記載無し	咽頭拭い液	RSウイルス	
10/20	RSウイルス感染症 細気管支炎	1	咽頭拭い液	ライノウイルス	
10/20	急性胃腸炎	1	直腸拭い液	エンテロウイルス	
10/20	発熱	2	咽頭拭い液	エコーウイルス11型	
10/21	じんましん	3	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型、7型	
10/21	流行性耳下腺炎、髄膜炎	6	髄液	ムンプスウイルス	
10/21	記載無し	11M	咽頭拭い液	エンテロウイルス サイトメガロウイルス	
10/21	髄膜炎	14	髄液	エンテロウイルス	
10/21	不明発しん症	3	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス7型	
10/22	気管支炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス ライノウイルス	
10/22	気管支炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス エンテロウイルス	
10/22	尿路感染症、上気道炎	2	咽頭拭い液	アデノウイルス	
10/22	肺炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス RSウイルス	
10/22	気管支炎	8M	咽頭拭い液	アデノウイルス ライノウイルス RSウイルス	
10/22	小児喘息性気管支炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス	
10/22	じんましん	1	記載無し	アデノウイルス ヒトヘルペスウイルス6型	
10/23	不明熱	9	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
10/23	流行性耳下腺炎	6	咽頭拭い液	アデノウイルス	
10/23	不明発しん症	11M	記載無し	ヒトヘルペスウイルス6型	

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
10/23	急性咽頭炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス	遺伝子
10/24	RSウイルス感染症 気管支炎	3M	咽頭拭い液	RSウイルス	
10/24	咽頭痛、浮腫	3	咽頭拭い液	アデノウイルス	
10/24	不明熱	1M	咽頭拭い液	エンテロウイルス ヒトヘルペスウイルス6型	
記載無し	不明発しん症	3	記載無し	ライノウイルス	



病原体検査情報 【検出病原体別・週別】

検出病原体		2008年							
		36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週
ウイルス	アデノウイルス	9	5	8	4	3	18	6	14
	ライノウイルス	3	3	4		2	8	2	6
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群								
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								1
	エンテロウイルス71								4
	その他のエンテロウイルス	10	6	15	11	11	16	8	14
	単純ヘルペスウイルス		1			1	1		
	水痘・帯状疱疹ウイルス		1						
	ヘルペスウイルス6/7	2	9	3	7	6	9		12
	EBウイルス	3	3	5	3	2	1		3
	サイトメガロウイルス	4	2	1	3	1	3		4
	ムンプスウイルス	1	1		2	2		3	2
	麻疹ウイルス								
	風疹ウイルス								
	パルボウイルスB19		1						
	RSウイルス			6		2	9	7	7
	ノロウイルス			1					2
	ロタウイルス								
	インフルエンザウイルスAH1								
	インフルエンザウイルスAH3								
インフルエンザウイルスB		1	2				2		
デングウイルス									
その他のウイルス		2	1		1	1	1		
細菌	カンピロバクター	1					2		
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌								
	溶血性レンサ球菌		1	2	1	1	1		
	その他の細菌			2	4			1	
その他の病原体									

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2008年36週～43週

臨床診断名 検出病原体	インフル エンザ	上 気 道 炎	下 気 道 炎	感 染 性 胃 腸 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 連 菌 咽 頭 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	ヘル パ ン ギ ー ナ	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	不 明 発 し ん 症	流 行 性 耳 下 腺 炎	水 痘	麻 し ん	風 し ん	そ の 他	
搬入検体数	6	59	73	31	58	2	5	3	3	12	1	36	14				176	
ウ イ ル ス	アデノウイルス		19	13	5	2	2	1	3		2	5					15	
	ライノウイルス		5	11	1	2					2						7	
	ポリオウイルス																	
	コクサッキーウイルスA群																	
	コクサッキーウイルスB群																	
	エコーウイルス																	1
	エンテロウイルス71			1	1	2												
	その他のエンテロウイルス		12	13	3	6	7		2	11		10						27
	単純ヘルペスウイルス					1												2
	水痘・帯状疱疹しんウイルス																	1
	ヘルペスウイルス6/7		1	1					2			16	1					27
	EBウイルス		4	1								1	5					9
	サイトメガロウイルス		2						1	1		6	1					7
	ムンプスウイルス					2								8				1
	麻しんウイルス																	
	風しんウイルス																	
	パルボウイルスB19											1						
	RSウイルス		5	25														1
	ノロウイルス				3													
	ロタウイルス																	
	インフルエンザウイルスAH1																	
	インフルエンザウイルスAH3																	
インフルエンザウイルスB	4	1																
デングウイルス																		
その他のウイルス		1	5															
細 菌	カンピロバクター				3													
	サルモネラ																	
	腸管出血性大腸菌																	
	その他の腸管系病原菌																	
	溶血性レンサ球菌							5									1	
その他の細菌		4	1				1										1	
その他の病原体																		